

○愛知工業大学 研究データポリシー

1 目的

愛知工業大学（以下「本学」という。）は、「愛知工業大学学則」第1条に定める目的及び使命を遂行するため、研究活動の過程で生み出される研究データを適切に管理・保存し、また公開により利活用を促進し、研究データの価値を守り高めることを目的として、本学における研究データの管理、公開及び利活用について本ポリシーを定める。

2 研究データの定義

本ポリシーにおいて「研究データ」とは、本学における研究に関する活動を通じて収集又は生成された、デジタル及び非デジタルを問わないすべてのデータをいう。

3 研究データの管理等

研究データの管理、公開及び利活用の方法は、学校法人名古屋電気学園及び本学の規則、その他これに準ずるもの並びに法令の範囲内において、他の者の権利及び法的利益を害さない場合に、収集又は生成した者により決定することができる。

4 研究者の責務

本学において研究活動に携わる者は、前項に掲げる範囲内において、研究データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用を促進する。

5 大学の責務

本学は、研究データの管理、公開及び利活用を支援する環境を整備・提供するものとする。

6 ポリシーの見直し

本ポリシーは、社会や学術環境の変化に応じて、適宜見直しを行うものとする。

○愛知工業大学研究データポリシー 解説

1 目的

愛知工業大学（以下「本学」という。）は、「愛知工業大学学則」第1条に定める目的及び使命を遂行するための研究活動の過程で生み出される研究データを適切に管理・保存し、また公開により利活用を促進し、研究データの価値を守り高めることを目的として、本学における研究データの管理、公開及び利活用について本ポリシーを定める。

本ポリシーは、本学の目的及び使命を遂行するための適切な研究データの管理、公開及び利活用に関する方針を示すものである。

2 研究データの定義

本ポリシーにおいて「研究データ」とは、本学における研究に関する活動を通じて収集又は生成された、デジタル及び非デジタルを問わないすべてのデータをいう。

研究データとは、研究に関する活動を通じて取り扱うデータを指し、収集又は生成したデータを解析又は加工して作成したデータも含む。具体的には、観測データ、試験データ、調査データ、実験ノート、メディアコンテンツ、プログラム、論文、発表予稿、講演資料等がある。

3 研究データの管理等

研究データの管理、公開及び利活用の方法は、学校法人名古屋電気学園及び本学の規則、その他これに準ずるもの並びに法令の範囲内において、他の者の権利及び法的利益を害さない場合に、収集又は生成した者により決定することができる。

研究データの管理については、研究分野により異なる。本学の研究分野は多種多様であるため、各研究分野における指針等を踏まえ、研究開始前、研究実施中、研究終了後の段階に応じて研究データを管理するものとする。

研究データの公開については、FAIR 原則（Findable：発見可能性、Accessible：アクセス可能性、Interoperable：相互運用可能性、Re-usable：再利用可能性）等を踏まえ、公開可能な研究データについて、可能な限り公開することが望ましい。

4 研究者の責務

本学において研究活動に携わる者は、前項に掲げる範囲内において、研究データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用を促進する。

研究者は、法令及び本学の規程その他これに準ずるものの範囲内において、適切に研究データを管理するとともに、公開にあたっては、当該データの信頼性を確保しなければならない。また、研究者は、異動又は退職する場合、管理する研究データの取扱いを決めるものとする。

5 大学の責務

本学は、研究データの管理、公開及び利活用を支援する環境を整備・提供するものとする。

本学は、研究者が適切な研究データ管理、公開及び利活用が行えるよう、データ保存のための基盤提供、公開・利活用のための機関リポジトリ提供、適切な取扱いのための啓発活動等の支援を順次実施する。

6 ポリシーの見直し

本ポリシーは、社会や学術環境の変化に応じて、適宜見直しを行うものとする。

ポリシー及び解説は、社会や学術環境の変化に応じて、適宜見直しを行う。